



6年生のみなさん卒業おめでとう

3月7日(月)、児童会主催で「6年生を送る会」をしました。18日の卒業証書授与式には、4年生と5年生しか参列できませんから、児童会が主催して1～5年生までの在校生全員が6年生とお別れする会をもちました。その時の様子は、写真で学校正門前の掲示板や校舎1階校長室



プレゼントを、手に拍手と花のアーチで退場

前に掲示していますので、お近くへ来られたら、是非ご覧ください。

1年生はなかよし学級のお兄さんお姉さんにどんなにたくさんお世話になったか、そしてそのお礼を大きな声でしっかり言えました。

2年生は鍵盤ハーモニカでお礼を込めて一生懸命演奏しました。3年生も4年生も、それぞれに熱い思いを伝えました。5年生は「後は任せてくれ」と言わんばかりの素晴らしい態度で堂々とリコーダー演奏を披露しました。

6年生からは、お礼に手拍子だけで表現するリズム演奏を披露し、皆

で作ったぞうきんをプレゼントしてくれました。代表委員会が作ったゲームもみんなで楽しみ、あっという間に時間が過ぎていきました。今日は、6年生が主役！花のアーチの下を入场する時のちょっと恥ずかしい、ちょっと照れた笑顔も、会が終わって退場の時には、充実した余裕の笑顔に変わっていました。

今、6年生の児童と数名ずつ校長室で給食を共にしています。1人1人はとてもかわいく、中学校でのクラブ活動のことなどを話してくれます。卒業することはうれしいのですが、少しの不安もあるようです。

卒業まで秒読みです。この仲間と同じ教室で出会うことは、もう、永久に無いのです。今の1分1秒を大切に、小学校生活を悔いの無いように過ごして欲しいと願っています。3月18日の卒業証書授与式に向かってGO！



さすが6年生！難しいリズムを楽しんでいます

東北地方太平洋沖地震について

3月11日(金)午後2時46分頃、東北地方に起きたマグニチュード9.0の大きな地震で、亡くなられた方へ職員一同哀悼の意を表しますと共に、負傷された方、家屋損壊など被災された全ての方に、心よりお見舞い申し上げます。

地震があった時間は、低学年が下校の途中で、中高学年は6校時の授業中でした。出張に行くために玄関で靴を履き替えている途中、船酔いのようなめまいを感じ何かにつかまろうとした時でした。「先生、地震やで。」と卒業前の校内清掃中の6年生が声をあげました。自分の経験した地震の揺れとは異なっていたため、何人かの職員は地震と気づかず、自分自身の体調不良によるめまいと錯覚したようでした。地震だと分かってから、職員室へ引き返し、テレビをつけて初めて東北地方の地震を知りました。職員室に設置している尼崎市防災無線で尼崎の揺れが震度3であったことを知りました。東北での地震が尼崎までくるのかと驚きながらも、校内放送で地震を知らせ、注意するように指示しました。市防災無線とテレビの状況から判断し、児童にはまっすぐ家に帰ることや高学年には海岸付近へは絶対に行かないように注意し、通常通りの時間帯で下校としました。ただ、5年生が社会見学でNHK大阪放送局に行っており、9階で地震に遭遇したことやエレベーターが止まったことなどの情報が担任から入ってきたので、携帯でやりとりしながらも、無事に帰校して顔を見るまでは心配でした。児童を帰してから、市教委の指示もあり、学校の損壊が無いか調べましたが、特に異常は見つかりませんでした。ご安心ください。

テレビではずっと地震のニュースで、被災地の方々の安否はもちろんのこと、保護者や地域の皆さんでご家族やご親戚が被災地域にいらっしゃる方はさぞご心配されていることだろう、阪神淡路大震災の180倍とも報道されている大型地震の映像を子どもたちはどう見ているのだろうか、怖がってはいないだろうか…など、この3日間はテレビにくぎ付けでした。

今日の朝会では、地震の話と今自分たちができることは何かを話しました。関東では計画停電が実施されます。被災地が広範囲にわたるため、今はまだいつ復旧できるか見通しは全く立たない状況です。あまりに広範囲なため、私達の住む関西を含め被災地以外でも、これから生活に関わるいろいろな不都合や我慢すべきことが出てくるでしょう。被災地では、まずは命優先、安否確認が最優先ですが、私達はその先をしっかりと見据えて、できることからがんばっていかねばならないと思います。子ども達にもしっかりと自分の頭で考えさせたいと思います。

また、新潟や長野でも地震が起こり、今回の太平洋沖での3つの連続地震に誘発されての地震かとも報道されています。近畿も決して安全ではありません。1.17地域防災訓練のように、児童が在校中の災害で帰宅後の安全が危惧される場合は、保護者が迎えに来られるまで、待ちます。何時間でも何日でも、学校で待機してもらうことは可能です。一番心配なのは、下校後から保護者の方が帰宅するまでの空白の時間です。お家でしっかり話をしていただきたいと思いません。お母さんやお父さんがいないときに地震が来たら、机の下に頭からもぐって机の脚をしっかり持つ、揺れが収まったら、頭をカバーして、例えば、

- ・ お隣のおばさん(〇〇さん)のところに行きなさい。
- ・ (学校が近ければ)学校へ避難しなさい。
- ・ アマドゥの2階へ行きなさい。

など、自分の家での約束事をしっかり決めて、まずは互いの安否確認ができるようにしておきましょう。

お願い

お子さんが学校管理下(登校時～下校し帰宅するまで)でケガをして、不覚にも学校がその事実を知らない場合があります。切った打った以外でも頭を打ったなど、脳内で思わぬ事態になることもあるので、必ず、担任の先生に知らせるように言ってください。学校でも指導していますが、いっしょにいた友達が教えてくれればまだいいのですが…ご協力よろしく願います。